

国語科授業ナビシート

小学校 第4学年 組() 名() 授業者

単元名「お話の『じーん』としたところを紹介しよう」 第9時/全11時

○本時で育成を目指す資質・能力 (いずれかに○をつける)
()知識及び技能 ()思考力・判断力・表現力等

(○)学びに向かう力、人間性等

○本時における「読み解く力」の視点

友達に紹介したい「じーん」とした場面とその理由について、自分の考えを明確にし、まとめている。【A③】
友達とのやりとりを通して友達に紹介したい「じーん」とした場面とその理由について、自分の考えを明確にし、まとめている。【B③】

○本時の目標

他者とのやりとりや、本を読み返すことを通して、紹介したい「じーん」としたところについて、登場人物の気持ちの変化を場面の移り変わり結び付けて、具体的に想像することができる。

○本時の評価規準

評価規準

登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像するために、進んで他者とのやりとりをしようとしたり、本を読み返そうとしたりしている。[主体的に学習に取り組む態度]

評価する具体的な児童の姿

- ◎他者とのやりとりや本を読み返すことを繰り返し、紹介したい「じーん」としたところについて、登場人物の気持ちの変化を場面の移り変わり結び付けて具体的に想像しようとしている。
- 他者とのやりとりや本を読み返すことを通して、紹介したい「じーん」としたところについて、登場人物の気持ちの変化を場面の移り変わり結び付けて具体的に想像しようとしている。
- △他者とのやりとりや本を読み返すことをしようせず、登場人物の気持ちの変化を場面の移り変わり結び付けて具体的に想像しようとしていない。

○本時の展開 (めあてや学習課題、学習活動、**予想される児童の姿**、指導の手立て、★評価を行う場面 等)

①学習の見通しをもつ。

・前時までの振り返りと本時のめあての確認をする。

めあて

「じーん」としたところの登場人物の気持ちがどう変わったのかを、前や後の場面とくらべて考えよう。

- ・指導者のモデルを提示し、「じーん」としたところの登場人物の気持ちの変化を、場面の移り変わり結び付けて考えることを確認する。
- ・必要に応じて友達と自由にやりとりをしてよいことを伝える。
- ・登場人物の気持ちの変化について、自分が納得できるまで考えられたら、「じーんカード」にまとめてよいことを伝える。

②友達とのやりとりを通し、自分に合った方法で、紹介したい「じーん」としたところを考え、交流する。【A③】【B③】★(行動・発言)

◎予想される児童の姿とそれに対する指導の手立て
気持ちの変化を前後の場面と比べて考えられない児童

- ・並行読書マトリックスを掲示し、目的に応じて交流する相手を選べるようにする。
- ・「じーん」としたところの前後の場面を読み返して、登場人物の気持ちについて考えたことを指導者とやりとりをする中で、気持ちの変化の想像の仕方について、つかめるようにする。

気持ちの変化を考えたことができた児童

- ・目的に応じて交流したい相手を選び、考えたことや想像したことを伝えて、まとめられる自信がもてたら「じーんカード」にまとめるように促す。

③学習を振り返る。★(振り返りシート)

- ・学びの足あとシートに本時の振り返りを書くように促す。
- ・振り返りの視点として以下を示す。

誰とやりとりをしたか
わかったことや考えたこと
まだ少し困っていること
次の時間にできるようにしたいこと

<想定する○評価の振り返り>

○○さんの考えを聞いて、本をもう一度読んで、登場人物の気持ちがどう変わったのかを考えることができました。

「じーん」としたところの登場人物の気持ちの変化を前の場面とくらべて考えることができました。